



令和4年7月20日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第17号

第1学期終業式 学校長式辞

令和4年7月20日
校長 柿林 浩彦

明日から皆さんが楽しみにしている夏休みとなります。夏休みは、自分をじっくり振り返ることができたり、自分のために何かしたりすることができます。また、週末には呉市中学校ソフトテニス選手権大会がありますので、しっかり力を発揮するよう頑張ってください。応援しています。

さて、今日は一冊の本を紹介します。この本は、岡山市にあるノートルダム清心女子大学の学長であった渡辺和子さんが書かれた「置かれた場所で咲きなさい」という本です。

渡辺さんは、36歳という若さでノートルダム清心女子大学の学長に任命され、63歳までの27年間、学長を務められました。北海道生まれで岡山に縁もゆかりもない若い女性が学長になり、その当時は多くの反発などがあり苦労が絶えなかったそうです。そんな悩んでいたころ、一人の宣教師が次の短い英詩を手渡してくれたそうです。



Bloom where God has planted you. (神が植えたところで咲きなさい)

「置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのだ。」と告げるその詩は、今まで縁もゆかりもなく見知らぬ地で、見知らぬ人たちに囲まれ、多くの反発などを受けて苦しい生活をしていた渡辺さんを大いに励ましたそうです。

「置かれた場に不平不満を持ち、他人の出方で幸せになったり不幸せになったりしては、環境の奴隷でしかない。人間として生まれたからには、どんなところに置かれても、そこで環境の主人公となり自分の花を咲かせようと、決心することができた。」と述べられています。また、この詩は「咲くということは、仕方がないと諦めるのではなく、笑顔で生き、周囲の人々も幸せにすることが大切なのです。」と続き、「置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。」と告げるものでした。

この本は、環境に負けず心穏やかに生きていくために、「置かれた場所に咲く」ための生き方についてまとめた一冊です。その中から生徒の皆さんにいくつか紹介します。

例えば、いくら頑張っても、いくら環境が変わっても、「こんなはずじゃなかった。」と思うことは、これからの人生では次から次へと出てきます。渡辺さんは、「そんな時にも、その状況の中で『咲く』努力をしてほしい。」と言っています。しかし、いつもいつも「咲く」ことができるわけではなりません。咲けない日もあります。その時には、無理に咲かなくてもいいから、その代わりに根を下へ下へと深く深く下ろしましょうと言っています。

「置かれた場所」とは、地理的な意味ではなく、心や気持ちの持ち方に当たります。理不尽なことや納得できないことに耐えられるだけのしっかりとした土台を作ることが人生には必要です。咲けない日は、いつか大きな花を咲かせるために、根を地中深く張る努力を続けていくことが重要なのです。

また、こんなことも述べています。

同じ経験をして、自分の感じ方と相手の感じ方は、決して同じではありません。お互い別々の人間だから、共通するところもあるけれども分かりきれないところもあります。

渡辺さんは「人間は決して完全に分かり合えない。だから、どれほど相手を信頼していても『100%信頼したらだめ。98%にしなさい。あとの2%は相手が間違っただけの許しのために取っておきなさい。』」とアドバイスしています。人間は完璧ではありません。それなのに100%信頼するから許せなくなる。100%信頼した出会いはかえって壊れやすいと言うのです。大切なことは、「あなたは私を信頼してくれているけれども、私は神様ではないから間違えることがあることを忘れないでね。」ということと、「私もあなたを他の人よりもずっと信頼するけど、あなたは神様じゃないと私は知っているから、間違ってもいいのよ。」ということです。そういう「ゆとり」が、その2%にあるような気がします。「だめなことはだめ。」という厳しい指導も必要ですが、間違えることを許すという「ゆとり」も必要です。それは、子どもであろうと、大人であろうと、人間みんな一緒だと思います。

置かれたところで自分らしく生きていけば、必ず「見守っていてくださる方がいる。」という安心感が生まれ、怒ったり悲しんだり不安になったりする心を鎮めてくれるのです。

私は、渡辺さんの言われることに納得し、本当に共感しています。上手いいかないときには、根を張る努力をすること、そして、間違えることを許す「ゆとり」をもつことの2つを大切にしていきたいと思います。

生徒の皆さんは4月から今日まで一生懸命頑張ってきました。だから、疲れもあると思います。また、3年生は進路について不安な気持ちもあります。疲れたときは、リフレッシュしたり、ゆっくりしたりしてください。そして、この夏休みはしっかり根を深く張る努力をしてください。きっと、その努力によって、皆さんは大きく咲いてくれることでしょう。期待しています。

